

## CLAIRS活動報告

## 関西大学チアーディングサークル「クレアーズ」

現在私たちは4回生2名、3回生3名、2回生3名、1回生2名の合計10名で活動しています。

今年度に入り、4回生から引き継いで3回生が代表をさせていただくことになりました。

指導していくことの難しさを知り、悩んだこともあります。そんな中、前代表の4回生の先輩方から心強い助言をいただきたい、元気いっぱいの2回生に支えられています。

また、この春新たに入部してくれた2人の1回生も交えて、よりいっそう楽しく一生懸命日々練習しています。

昨年度は本当に数多くのイベントや長柄会総会、校友会各支部総会に出演させていただき、幅広く活動させていただきました。校友会各支部総会においては、先輩方にお話を伺うことができたり、応援していただきとてもいい経験をさせていただきました。これからも期待にこたえていけるよう精進していきます。

関大生にみてもらえる学園祭では、私たちの持っている力を最大に発揮することができます。



ました。そこには日々の練習や、イベントなどを通して培った力を出すことができました。また学園祭は私たちにとって、多くの人たちにCLAIRSという存在を知つてもらえる大きな機会であると考えています。CLAIRSという存在を多くの方に知つていただきたいという思いのもと、みんなの気持ちがひとつとなり、最高のステージを作り上げることができました。

今年度に入ってからは、スプリングフェスティバル、スポーツマンクラブ七夕総会、吹田まつりに参加させていただきました。

吹田まつりでは、笑顔が素晴らしいチームに贈られる「くわい賞」をいただくことができました。演舞をするときは常に、観客の皆様に楽しんでいたため、笑顔で演舞することを心がけてきました。この努力が実を結び、「くわい賞」をいただくことができたと考えています。この喜びを糧とし、来年は大賞である、「江坂賞」をいただける演舞をするためにこれからも練習に励みたいと思います。

3回生:福井 紋和、江木 彩乃、河野 昌代



## My Boom

## マイ ブーム 研究生活

私のMy Boomは「研究生活」です。そこで簡単ではありませんが、私の研究生活についてお話しさせていただきます。

私は、関西大学大学院理工学研究科ソーシャルデザイン専攻にある「システム最適化研究室」に所属しており、学部生のサポートなどをしながら荒川雅裕教授指導の下、「マルチエージェントモデルによる小売店舗内購買シミュレーション」というテーマで毎日研究を行っています。

具体的には、実験でアイマークレコーダーという視点と視線を観測する機械を使い、人が何に注目して購買・非購買の意思決定等をしているのかを確認し、それを数学モデル化し、また店舗内のレイアウトや商品配置の変更をプログラム内に組込み、コンピュータ上でシミュレーションすることによって得られたデータから売上にどのような影響を与えるかを分析する研究を行っています。

学部生時代には訳も分からずがむしゃらに研究を行っていましたが、研究生活も2年目に入り、工学部ではほとんど学ぶことができなかつた商学・経済学等の研究分野に対する知識が増えたことで、研究に対する目標もきちんと

第64代 横内 俊裕

平成23年	9月23日(金)～25日(日) 校友会事業部海外研修(台湾)
10月	1日(土) 西宮支部総会【ノボテル甲子園】
1日(土)	大阪中央支部総会【シティプラザ大阪】
15日(土)	関西大学応援団OB長柄会総会【新阪急ホテル】
16日(日)	平成23年度校友会総会【BIGホール100・灘風館2階】
11月18日(金)	司法書士関大会第51回総会【大阪キャッスルホテル】
19日(土)	平野支部総会【パル法円坂】
23日(水)	校友落語家による「関大奇席」【天満天神繁盛亭】
下旬	長柄会ゴルフコンペ【愛宕原ゴルフ俱楽部】
平成24年	1月14日(土)校友会新年互礼会【新阪急ホテル】
	3月24日(土)第98回定時議員会【100周年記念会館】

今後の予定

## 長柄会会員「物故者一覧」

昨年の総会以降にご逝去が判明した方々  
(敬称略)

戦 前 温品 正雄
初 代 石井 嘉人
専門部 昭和22年度入学 林 広
第9代 駿 堅司
第10代 梶原 敏郎
第33代 南 諭志
相談役 澤田 嘉貞

ご冥福をお祈りいたします。  
※会員の方の慶弔に際しましては、事務局までご一報をお願いいたします。

## 編集後記

毎年異常気象とかの話ができるが、今年は異常だらけである。東日本大震災に始まり、平年よりも13日も早い梅雨明け。その後の残暑の厳しさ。本紙を発行する頃には暑さもおさまっているだろうが、おさまらないのは原発問題である。数年で終わる事の無い影響の大きさに震撼しつつ、日本人としてできる事をそれぞれの立場で頑張っていくしかないとされている。今年も諸先輩方のご協力を得て本紙を発行できることに感謝しております。

長柄会HP  
<http://www.geocities.jp/kandainagarakai/>

第36代 奥田 照夫

## 押忍

◆ 第25号 ◆

関西大学応援団OB長柄会会報

●発行日／平成23年9月3日

●発行責任者／大谷 啓二

●編集責任者／奥田 照夫

## 青春の息吹を今



関西大学応援団 OB長柄会  
会長 大谷 啓二

この度の東日本大震災による被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

自然災害の規模として誰もが想定し得なかつたレベルの災害とは言え、原発問題ならびに復興への政府の対応は閣内での足並みの乱れや閣僚の辞任など、政治家としての責任・役割を放棄した如くの感があります。昨年の本欄で「いつの時代もリーダーたる者、強い信念と勇気を持って対処しなければならない」と書かせていただきましたが、今年もより一層強く感じるとともに、一日も早い復旧・復興を願っております。

また、今年4月には二部応援団の元顧問教授であられた関西大学法学部の澤田名誉教授がご逝去されました。尼崎のご自宅には現役当事に何度もお伺いしてお世話になった会員諸兄がたくさん居られることと存じます。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

さて、長柄会総会も68回を数える事となりました。65回総会では二部応援団の解団式も兼ねて実施してから3年が経過しました。二部応援団の精神は現役としてはチアーディングサークルのCLAIRSが継承し頑張ってくれていますが、我々はOBとなった今でも現役時代の熱き思いを胸に秘めているものと確信しています。青春時代の一途な思いだけでは世の中渡ってはいけないと理解していますが、基本的に自分の進むべき道の根本が応援団生活の中で培われたと感じている会員諸兄も多いものと思います。

そういった者同士が年に一度集い、語らうことは非常に有意義であると感じています。会員諸兄におかれましては、是非とも多くの同期、先輩、後輩をお誘い合わせの上、ご出席を賜りますようお願いいたします。

## 豪華景品 福引抽選会実施

第68回 長柄会総会 10月15日(土)

■受付:午後5時より

■総会開会:午後5時30分より

■懇親会開会:午後6時より

■会場:新阪急ホテル 2階

総会:雪の間 懇親会:花の間

大阪市北区芝田1-1-35 TEL:06-6372-5101

長柄会の第68回総会を、来る10月15日(土)新阪急ホテルにおいて開催いたします。

今回は役員改選期に当たります。今後の長柄会運営上大切な総会ですので、皆様のご出席をお願いいたします。

また、例年実施しております「豪

華景品福引抽選会」に加え、昨年好評だった「あなたの現役当時の写真プレゼント」も引き続き実施いたします。昨年の総会時に写真を探せなかつた方、または所用で出席できなかつた方も最後の写真プレゼントとなりますので、ぜひ、総会にご出席ください。



会 費
初 代～第51代……………1万円
第52代～第60代……………8千円
第61代～第65代……………6千円
第66代以降……………無 料
女性各自……………5千円
同 伴 者……………5千円

お願 い
本紙をもって、総会及び懇親会のご案内に代えさせていただきます。誠に恐れ入りますが、ご出欠につきまして、9月23日までに同封のハガキにてご回報下さいますようお願い申し上げます。

## 関西大学体育会各部の活動状況について

関西大学体育OB会長 小坂 道一



長柄会の皆さまにはいつも体育OB会並びに体育会各部への応援、ご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、体育会各部はここ数年目覚しい活躍を続けていますが、振り返ってみれば昭和40年代の学園紛争以来、関大スポーツは長い間、低迷期がありました。

しかし、栄光と伝統の関大スポーツの復活を望む学内外の声を受けて、平成14年に法人、教学のご理解のもとスポーツフロンティア入試(S-F)の名称でスポーツ推薦制度を復活していただきました。

そして平成15年4月にS-F入試により69名が第一期生として入学し、強い関大へのチャレンジがスタートしました。

さらに優秀な人材の確保と共に、スポーツ強化に不可欠な競技施設の充実と指導者の確保についても年々充実してきたところです。

また、平成19年度にはアイスホッケー部、アイススケート部、アメリカンフットボール部、硬式野球部、サッカー部、陸上競技部(駅伝)

の6部が大学から最重点強化種目に選定され、更なる強化を進めているところです。

このようにスポーツ強化が進められる中で、全国制覇を果たすクラブや世界トップレベルの選手も現れ、全国40万校友が関西大学への母校愛をたぎらせています。

特に一昨年12月に行われたアメリカンフットボールの大学日本一決定戦甲子園ボウルでの優勝、本年1月に国立競技場で行われた全日本大学サッカー選手権大会でのサッカーワールドの大学日本一、バンクーバーオリンピック、世界選手権での高橋大輔君の銅メダル、金メダルの獲得など記憶に新しいところです。

更に射撃部の全日本女子学生ライフル射撃選手権大会総合優勝を始めとする五冠達成。拳法部、なぎなた部、自動車部、自転車部等の多くのクラブが日本一に輝いています。

これらの成果は体育OB会の関大スポーツの強化に向けての法人、教学への粘り強い働きかけへの大学ご当局のご理解と、各部OBの母校関西大学、そして後輩への熱い思いが実を結んだものと思います。

## 澤田先生を偲んで

長柄会 副会長 児島 弘治



もう何年前になるだろうか、覚ゆるところの記憶を辿ってみる。

私の幹部時代の応援団は授業料闘争の真っ最中に六大パートの中でも重要な一角をなしていました。私は団室の上の階にある学生課に顔を出しがたのが日課でした。当時の学生課は田中課長、村山係長、山田主任が居られました。そこへ授業の講義を終えられた澤田先生が天六に来られた時はいつも寄つておられました。

ある日、私が学生課を訪れた時、偶然にも澤田先生とお会いする事があり、その時その時、山田さんから丁寧に紹介して頂いたのが始まりです。私の弟が法学部に在籍していた関係なのか「君とこの店にカップを買ひに行つた事があるんや」との話から親しくお付き合い

して頂く事になりました。

卒業後は暫くお会いしていなかったのですが、何年前か思い出せませんが、澤田先生が応援団の顧問教授になられ、それ以降は総会などで頻繁にお会いするようになりました。先生の事は皆さんも良くご存知のとおり「福来大黒さま」のような風格の先生で「心伝心」誰でもが楽しくなります。お陰さまで二部応援団も随分と大きくなっています。

さて、個人的な事ですが、私は山田さんとは飲み友達です。山田さんは澤田先生とは親しくされていました。澤田先生はオレンジジガカントリークラブのメンバーで良くゴルフに誘つて頂きました。私が運動して行くのですが、メンバーは運動をしない人で、お酒好きの方が多かったです。(ゴルフの内容はご察しつくと

思います)このコースは距離があるので、相手の覚悟がいります。

また、「うちの近所に生け簀で旨い店があるからおいでや」と良く呼んで頂きました。美味しい店でした。有り難く何度も寄せて頂きました。大変楽しいお付き合いをさせて頂きましたが、人は無常があり、お別れする事がやってきました。弔問に寄せて頂き、弔問の人の多さに驚きました。あらためて先生の偉大さと先生のお人柄が偲ばれます。

最後に澤田先生からのメッセージを書いて終わります。

「ひたむきな母校愛、そして今もますます結束のOB長柄会。正に「温故知新」(論語「為政」の一節)の魂をみています。万歳。万歳。万々歳。」

### 澤田嘉貞先生略歴(大学教員紹介参照)



1951年関西大学法学部卒業。大学院で故中谷敬寿博士の指導の下憲法学専攻。58年非常勤講師、専任講師、助教授を経て、地方自治および憲法などを担当。憲法に関する共著執筆などとともに、故田村教授らと共著で地方行政入門に「地方行政制度」編を執筆、地方自治概説、日本行政法(中)、改版増補の地方自治概説も出版。

もともと憲法学専攻だが、その基礎として地方行政は理論と実際の研究から学外で府、県、市の職員研修や各種委員会、審議会、16

年に亘る教育委員及び委員長を終えた。

公害紛争委員会会長、商工会議所で大店法の下、商業街づくり特別委員会委員長等々で実務、公職を歴任。93年には全国版になった議会議員のカラ出張実態調査委員会会長。

学内では12年間の就職主事、行政試験受験研究会会長、千里山法律学会会長、睦法会(同OB会)会長などを歴任。99年定年により退職され、名誉教授になられた。

2011年4月12日逝去。

## 第14回 三団体合同ゴルフコンペを終えて

業ですが、この会が末永く続くために、より多くの諸先輩、後輩の方々のご参加を切にお願い致します。



去る6月9日(木)、梅雨の晴れ間を見せたこの日、絶好のゴルフ日和となり、第14回三団体合同ゴルフコンペが愛宕原ゴルフクラブにて開催されました。

三団体とは学生時代を二部で過ごしたOB会で、スポーツマンクラブ・天六同友会・応援団OB長柄会の組織で構成されています。毎年、三団体が交代で幹事を務め、今年は応援団OB長柄会が担当の年でした。

総勢54名の諸先輩方の参加を頂きました結果、優勝はスポーツマンクラブの崔岡相弘先輩(43-43HD 17.2-ネット68.8)、準優勝・ベストグロ

ス賞に応援団OB長柄会の馬渕純一先輩(42-37-79)がなられ、ベストグロス賞に輝いた馬渕先輩はあまりのスコアに信じられない様子でした。

その後の表彰式も和気あいあいと進められ、校友会本部からご参加頂きました古川副会長はじめ、森本先輩、小坂先輩から「このように楽しい会が、末永く続けられるように」とお言葉を一樣に頂きました。

ゴルフと言うスポーツを通じ、年代を超えた異業種交流の場として楽しい1日を過ごすことができ、本当に良い機会をもつことができました。

私はこのコンペの参加者では数少ない平成の卒

第48代 戸高 憲司

最後に、リーダー部・親衛隊から去年ペーストとして総会でデビューを飾った第27代梶山俊成先輩に続き、今年は第28代馬渕純一先輩がフルートでデビューされます!!。5月からフルートを始めたばかりですがメキメキ上達され、OBバンド一番の期待の星です☆

今年の総会も皆様に楽しんでいただける演奏ができる様にメンバー一同頑張りますので乞うご期待ください!

第46代 田所 美幸



※OBバンドの練習日程やお問い合わせについては長柄会ホームページ <http://www.geocities.jp/kandainagarakai/>をご覧下さい。

## OBバンド活動報告



昨年の猛暑に劣らず毎日暑い日が続いているですが、皆様におかれましては如何お過ぎででしょうか?

さて、私にはきっと来ないとと思っていた「押忍」の原稿依頼がついに回ってきてしました(汗)。拙い文章で申し訳ありませんが、この紙面をお借りして活動報告をさせていただきます。

2008年に第25代松本安雄先輩の呼びかけで始まったOBバンドの活動ですが、同じく第25代出口健一先輩を中心に、練習場の予約から楽譜の手配、メンバーへのメール連絡などをマメにして下さっているお陰で月1回の練習もすっかり定着してきました。

私は卒業して(ウン十年?)以来初めて、今年4月3日に開催されたスプリングフェスティバルに参加させていただきました。

スプリングフェスティバルとしては初めての試みとして、OBバンドメンバーの有志とクラーズの皆さんと一緒に、第28代馬渕純一先輩のリーダーによる合同演奏(応援歌・新学生歌)を行いました。

東日本大震災直後で日本中が自肅ムードの中でしたが、「私たちが先ず元気を出して東北を応援していかなければ始まらない!」という気持ちで演奏・演奏し、お越しいただいたご来賓やOBのご家族の皆さんにも十分喜んでいただけたのではと思います。

現在は10月の総会に向けて、曲目も決まり(プログラムは当日のお楽しみ!)、練習にも一層力が入っています。毎回の練習に参加しているメンバーはほぼ同じですが、なにぶん小編成なので、足りないパートの楽譜を吹けるメンバーが補って曲を仕上げる、といった練習になります。人数は多ければ多いほど楽しいし、演奏にも迫力が出ると思いますので「総会しか参加できないけど…」という方も是非楽器を持参していただき、一緒に音楽を楽しみませんか?

毎回の練習後には楽しい反省会が待っています(私は実はこれが楽しみで参加しています!)。現役時代にはなかなか気軽に言葉を交わす事もできなかつた大先輩方とも応援団や音楽の談義で盛り上がっています。

## 現役時代の思い出

私が応援団に在籍したのは昭和37年～昭和41年の4年間お世話になりました。今から約45年余り昔の記憶を辿りながら思い出を語りたいと思います。

応援団に入団した1回生の時夏の合宿に初めて参加しました。朝、昼、夜と3食の食事どきは配膳の用意から先輩方のご飯のお替り、また幹部の方が箸を置き「ごつつかん」と言えば下級生全員が箸を置き食事の時間が終わりました。1回生は給仕当番で、ろくに食事も取れず空腹感が残り、食事の後のカタづけの折に台所で小母さんに残りご飯をおにぎりにしてもらいました。一緒に立ち食いした苦い思い出が浮かびます。すべてが初めての経験でした。

練習疲れで熟睡中の夜中に太鼓で叩き起されランニングをする夜襲という伝統行事にも遭遇しました。あまりのきつさに1回生全員で夜中に脱走しようと相談しましたが、山中の旅館ゆえ決行することはかないませんでした。行動を起こしていれば今日の私はなかったと思います。

2回生になり1回生が入団てきてから、団生活は少し樂になりました。

3回生の夏合宿は石川県の津幡の地で行い、旅館と練習場所は相当離れていました。合宿のとある日練習が終わる整理して旅館への帰り道、急に便急を催し、辛抱できず道端にて用を足したのを覚えております。合宿最後の日は小学校の講堂をお借りして地元の方々を招待して、お礼として吹奏楽演奏やリーダー部や親衛隊の乱舞を披露しました。関西大学の名を微力ながら地方に広めたと当時は自負しておりました。

4回生の夏合宿は上げ膳、据え膳で神様になつたような待遇を下級生にしてもらいました。合宿最後の晩は、打ち上げと称して幹部は冷えた瓶ビールを、下級生は2級酒を飲むといつも応援団の上下関係を痛感いたしました。合宿最後の晚餐打ち上げは、1回生の御苦労さん会(1年生天下)という伝統がありました。上級生が1回生に食事の用意からご飯の接待、お酒を注ぐサービスをして大いに酒を飲みました。

その後、疲れと酒の酔いで熟睡している下級生を、腹黒い幹部が夜襲をかけ、集合時間が遅いと文句をつけ、整列させヤキを入れたのを思い出します今は懺悔の気持ちでいっぱいです。

最後に4回生幹部の秋に千里祭という行事があり、昔の広い千里山グラウンドで大勢の学生の前で、妙見拍子の乱舞を披露して4年間の団生活を終えました。懐かしいその当時の関大正門前にて、千里祭に参加した団員諸君の写真と共に掲載します。

第21代 大江 正則

